



第10回
ホームホスピス全国合同研修会

〈暮らしの中で“死にゆく”こと〉 in 宮崎

2021年11月20日(土)～21日(日)

- 会場 MRTmicc ダイヤモンドホール
宮崎市橘通西4丁目6番3号
- 参加費 両日参加 5,000円
- 定員 300名(会場参加100名/オンライン視聴200名)

20日(土) 〈12:30～ 受付開始〉

- 13:00～13:30 **ホームホスピスが生まれたまち**
市原 美穂 (全国ホームホスピス協会理事長)
- 13:35～14:25 **なぜ、地域共生社会なのか—その実現に向けて**
野崎 伸一 (厚生労働省職業安定局高齢者雇用対策課長)
- 14:30～15:20 **まちを住みこなす**
大月 敏雄 (東京大学大学院工学系研究科教授)
- 15:30～16:20 **ひとりにしない支援—伴走型支援とは何か**
奥田 知志 (八幡東バプテスト教会牧師/ NPO 法人ホームレス支援全国ネット代表)
- 16:25～17:30 **「つながりを編み出す」社会とは**
座談会 野崎 伸一/大月 敏雄/奥田 知志 〈コーディネーター〉市原 美穂
- 17:40～18:40 **つながる時間(会場のみ)—交流を深めましょう**

21日(日) 〈9:00～ 受付開始〉

- 9:30～10:30 **暮らしを支える医療人を育てる**
教育講演 吉村 学 (宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座教授)
- 10:35～11:35 **どんな感情も大切なところのメッセージ**
教育講演 副島 賢和 (ホスピタル・クラウン 学校心理士スーパーバイザー 昭和大学大学院准教授)
- 11:35～12:35 **休憩**
- 12:40～15:20 **0歳から100歳を超えて 生き方と向き合う在宅医療**
シンポジウム (パネリスト) 市橋 亮一 (総合在宅医療クリニック理事長)
堤 育子 (訪問看護ステーションぱりおん所長)
木戸 恵子 (ホームホスピスはーとの家)
〈コーディネーター〉吉村 学

つながりを編み出す

地域共生社会を考える

講師、パネリスト紹介 (50音順)



Ichihashi Ryoichi

市橋 亮一

1973年生まれ・名古屋大学医学部卒・土岐市立総合病院で研修後・名古屋大学医学部付属病院・名古屋第二赤十字病院勤務。2009年、総合在宅医療クリニックを開設。一人ひとりの患者さんの想い・希望を大切に、「希望する在宅生活を、安心して送れるように支援する」を理念とし、地域の医療をしっかりと支援する在宅医を目指す。



Soejima Masakazu

副島 賢和

昭和大学大学院保健医療学研究科准教授、昭和大学附属病院内学級担当。1966年福岡県生まれ。89年より、都内公立小学校学級担任として勤務。06~13年品川区立清水台小学校さいかち学級担任。14年4月より現職。学校心理士スーパーバイザー。ホスピタルクラウン。著書：『あのね、ほんとうはね 言葉の向こうの子どもの気持ち』『あかはなさえじ先生のひとりじゃないよ』ほか



Otsuki Toshio

大月 敏雄

1967年福岡県生まれ。東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授。東京大学工学部建築学科卒業、同大学大学院博士課程単位取得退学。横浜国立大学工学部建設学科助手、東京理科大学工学部建築学科准教授を経て現職。専門は、建築計画、住宅地計画、ハウジング、住宅政策。著書：『町を住みこなす—超高齢社会の居場所づくり』他



Tsutsumi Ikuko

堤 育子 鈴木医院院長

訪問看護認定看護師。訪問看護ステーションぱりおん所長。早くから小児の訪問看護に携わり、患児・家族を支援する。



Okuda Tomoshi

奥田 知志

1963年生まれ。関西学院、西南学院大学それぞれ神学部卒業。九州大学大学院博士課程単位取得。1990年、東八幡キリスト教会牧師として赴任。学生時代から続けるホームレス支援のボランティアを教会の課題としても継続し、北九州市において3100人以上のホームレスの人々を自立に導いた。NPO法人「抱樸」理事長。受賞歴、著書多数。



Nozaki Shinichi

野崎 伸一

東京都出身。1999年厚生省入省。児童家庭局、米国留学、医政局、障害保健福祉部、外務省出向、健康局などを歴任し、2016年に社会保障担当参事官室政策企画官室長補佐、2018年7月から現職。「地域共生社会」のコンセプトづくりや政策立案に関する省内の総括の傍ら、全国に足を運び、地域づくりの実践に学ぶ日々を送る。



Kido Keiko

木戸 恵子

機能強化型訪問看護ステーションはーと（東京都葛飾区金町）所長。2013年、終末期の患者さんが地域で最期を迎えられるよう支援するホームホスピスはーとの家を開設。その後、医療・介護従事者と地域住民が集える支援カフェ「介護のみのりはーとカフェ」の運営、また、「町の保健室」を開き、地域住民の医療・介護についての相談を受けるなど地域活動を展開する。



Yoshimura Manabu

吉村 学

鹿児島県出身。1991年、宮崎医科大学（現宮崎大学医学部）を卒業後、自治医科大学地域医療学教室で地域医療・家庭医療を学ぶ。2003年より岐阜県揖斐郡北西部地域医療センター長に着任、地域で医療者を育てる先駆的な取組みを始める。2015年より、宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座教授。

〈お問合せ先〉

一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局 〒880-0913 宮崎市恒久 2-19-6
TEL 0985-65-8087 (月～金 / 10:00-17:00) FAX 0985-53-6054 e-mail info@homehospice-jp.org